

スローライフ通信 71

スローライフ千里

スローライフ千里では秋祭り みんなでわっしょい!



施設長の挨拶で祭りがスタートです

小雨が降っていたので、屋根のあるスペースしか使えず、少しごちゃごちゃ感もありましたが、盆踊りのボランティアで来られた天羽会の方々や、三味線ボラ

りが開催されました。

ライフ千里秋祭

9月22日あ
いにくの空模
様でしたが、
初めての試み
となるスロー



吹田のあの子と、はい!ポーズ

ンティアのひまわりの会の方との距離が近く、今まで以上の一体感を感じる事が出来た様に思います。ご利用者の皆さんのイキイキとされた表情を見る事が出来ました。
また、今回は手作りしたお神輿を、

スローライフ通信
第71号
平成29年11月15日発行
編集：スローライフ広報委員会
社会福祉法人和貴会
本部事務局
大阪府八尾市本町2丁目8番3号
オーブル本町ビル3F
<http://www.slowlife.or.jp>

秋祭り



お神輿を担ぎました

ご利用者の方に担いで貰いました。パワフルな掛け声でわっしょいわっしょい、賑やかなお祭りになりました。
暑さに体調を崩す方もおられず、今から、来年も秋にしようかと考えています。
協力いただいたご家族、ボランティアの皆さま、本当に有難うございました。

各スローライフでの、行事や日常を紹介します。

すろー
らいふ
な日々

若人の未来のためにひと肌脱ごうじやないか

― 教員過程における介護等体験の受け入れ

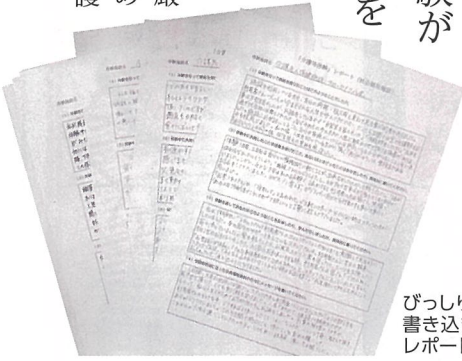
スローライフ八尾では『教職課程における介護等体験』にまつわる学生を受け入れており、今年も近畿大学の学生たちがやって来ました。5月から夏休みを挟んで9月まで、合計で31名の若人たちでした。

入所やデイケア利用の皆さんと交流し、仕事としての介護の現場を体験してもらいました。皆さん初めて見ることや触れることばかりで、戸惑うことも多かったようですが、時間を追うごとに個性もみせるようになり、楽しそうに活動していました。

利用者様も久しぶり(?)の若人とのふれあいに、いつも以上に笑顔でおしゃべりする姿が印象的でした。

体験終了後に提出された感想を少しだけ紹介します。この経験が学生たちの未来に役立つことをみんなが祈っています。

【解説】
介護等体験は、教員志願者が個人の尊厳および社会連帯の理念に関する認識を深めるために、障害者・高齢者などに対する介助・交流等の体験を行う機会です。



びっしりと書き込まれたレポート

(1) 体験を行って感想を受けたことはどのようなことでしたか。

施設を利用している方を、自分の両親・祖父母と重ねて見る事が何度もありました。利用者さん一人一人が今までどんな人生を歩んできたのか、たっから日間では全てを理解する事は不可能でしたが、お話をしている中で「自営業を営んでいた」「洋裁師をしていた」「定年を過ぎてでも会社社員として働いていた」などその方の歩んできた人生に驚かされていく場面がありました。施設にお世話になること、自分や家族がいつどんな病気になるかわからないこと、身に染みる程感じました。私の倍、人生を知っている方から頂く「ありがとう」は、普段言われる「ありがとう」の何十倍、何百倍もの重みを感じました。

実習レポート「感銘をうけたこと」欄(抜粋)



作品名:ひまわり
作り始めたときは、花卉が破れやすく難しいと仰っていましたが、作り続けているうちに、真剣に、楽しく、みんなで作りました。きれいな花を咲かせることができそうです。

「デイケア利用の皆様の作品が機関紙『老健おおさか』の表紙を飾りました

穏やかな表情になっていました。利用者様はうっとりとして聞き入り、皆さんとても

「アメイジンググレイス」「ふるさと」などやさしいメロディを情感たつぷりに奏で、たおやかにつま弾かれた糸たちが、心あたたまる旋律を紡ぎます。

上品な鈴木りえさんがやって来てくれました。デイケアや入所フロアを一つずつ回り、「朧月夜」「アメイジンググレイス」「ふるさと」などやさしいメロディを情感たつぷりに奏で、たおやかにつま弾かれた糸たちが、心あたたまる旋律を紡ぎます。

上品にやさしく...
しなやかな指で奏でる
アイリッシュユハープ
秋。運動、読書、食事、芸術など似合うものはたくさんありますが、なんとなく高尚な気分になるものです。そんな折、ちょうどよく上品な楽器「アイリッシュユハープ」を携えて、



やさしいメロディが降ってくる

毎年恒例

敬老会を開催しました



10月は2週続けての大型台風となり、奈良でもあちこちで被害が出ていました。奈良と大阪を結ぶ主要道路の阪奈道路が大阪側で通行止め、近鉄電車の生駒〜王寺線が土砂の流入で一部運休など、スローライフの職員にも通勤被害がありました。自然は恐ろしいです…。

はてさて、今回の通信は、9月18日の敬老会の記事となります。今年も趣向をこらした(?)催しを職員一同で考



V S スタッフチームとの息詰まる熱戦

え、楽しんでもらいました。まずは「卓球」。以前に卓球台をいただき、当初は職員同士で対戦しよう!ということにしていたのですが、意外にも入居者の方からの参加が多く、職員VS入居者様という構図になりました。留学生にも参加してもらい、いざ対戦!!…全員ではないにしても、昔の方は

強かった!通常のドライブ回転ではなく、横回転やカットなんかも普通に使ってくるんですよ!?!これじゃあ卓球経験のない普通の職員が敵うはずはないですよね(笑)聞けば卓球できる環境がそこらじゅうにあったんだとか…納得。

さてお次は「よさこい踊り」。ケアハウスの職員が夜な夜な練習し、皆さんの前で本場のよさこい祭りばりの踊りを披露しました。留学生も参加して一緒に盛り上げてくれました。個人的には衣装があればもっとよかった…かな。最後は「影絵」。手だけで表現した動物などをクイズ形式で行いました。が、誤算があり、カーテンをすべて



海外留学生も一緒に参加してくれました

閉めてもホールは明るかった…失敗でした。何とか光源を狭めることでわかっていただけだったので安心でした。と、こうして今年も皆さんの笑顔と共に無事に敬老会を終えることができました。クリスマスは何をしようかなあ…。

ご注意ください！ノロウイルス！

空気が乾燥していく季節、気をつけたいのは感染症。特にノロウイルスは、この時期から流行し始めます。ノロウイルスによる感染性胃腸炎の症状や対策等を調べてみました。

ノロウイルスの潜伏期間は12〜48時間、主症状は嘔吐、下痢、腹痛が突然強烈に起きるのが特徴で、大人

では、吐き気や腹部膨満感といった症状も見られます。発症後2〜3日程度で症状は治まりますが、**症状が回復した後1〜2週間は糞便中にウイルスを排出し続けるので二次**

感染にも注意が必要です。現在ノロウイルスの予防ワクチン、治療のための抗ウイルス剤は開発中ですが、**わかっておらず、感染性胃腸炎にかかった時の治療は下痢止めの薬、整腸剤の投与といった対処療法になります。**ですから**日頃の感染予防が重要**となります。

●日頃の感染対策

ノロウイルスに対する感染対策としては、**ウイルスを口に入れない**ことが最も重要です。ウイルスを口に入れないための**有効な手段は主に3つ**です。



帰宅時に正しい手洗い・うがい、食事前やトイレの後には正しい手洗いをを行う。



十分に加熱した(85℃、1分以上)食品を摂取する。



調理場や調理器具、共有で使用する箇所でのウイルス除去を行う。

●もしも家族や周囲の人がかかってしまったら

吐しゃ物や糞便、乳児や高齢者のオムツは適切に処理する。吐しゃ物や糞便にはウイルスが大量に含まれており、**乾燥してしまつと浮遊して空気感染を起こします。**ノロウイルスに効果のある**消毒剤、除菌剤でウイルス除去するとともに、吐しゃ物や糞便が乾燥する前に取り除くことがポイント**です。



1 ガウン(エプロン)を着用し、使い捨て手袋とマスクを着用してください。



2 紙ペーパーや新聞紙などでおおいます。



3 まんべんなく消毒剤や除菌剤をスプレーします。



4 紙ペーパーごと静かに汚れを包み取ります。



5 吐しゃ物が付着した床とその周囲にまんべんなく消毒剤や除菌剤をスプレーします。



6 布か紙ペーパー等で拭き取り、しっかりと水拭きを行います。



拭き取った吐しゃ物、使用後の紙ペーパー、新聞紙、布、手袋等はすぐにビニール袋に入れ密封して廃棄します。

参考：大幸薬品HP <https://www.seirogan.co.jp>